CASBEE-建築(新築)2016年版 (仮称)柏の葉キャンパス新技術センター計画 A集 新築工事 ■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

(仮称)	柏の葉-	キャンパ	ス新技術センター計画 A棟 新築工事	欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト	:	CASBE	E-BD_N	C_2016(v3.0)
スコ	アシー	-	実施設計段階						
配慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み	評価点	重み	全体
Q 7	車築物	勿の環	境品質		#1 II #III	係数	#1 III-7III	係数	4.0
	室内		- JOHN JC			0.40		-	3.9
	音環境				4.4	0.15		-	4.4
	1.1	室内縣	蚤音レベル	事務室NC-40	4.0	0.40	3.0	-	
	1.2	遮音			5.0	0.40	-	-	
		1	開口部遮音性能	開口部遮音性能: T-2	5.0	0.60	3.0	-	
			界壁遮音性能	Dr=50	5.0	0.40	3.0	-	
			界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
		4	界床遮音性能(重量衝撃源)	 床:タイルカーペット、天井:ロックウール吸音板	3.0	-	3.0	-	
		吸音		は:ダイルカーペッド、大井:ロック・ノール吸音板	4.0 2.9	0.20	3.0	-	2.9
		室温制	北約		4.1	0.50		-	2.5
	2.1		室温		3.0	0.38	3.0	_	
			外皮性能	[外壁]U=0.8W/㎡·K、[窓]U=2.08W/㎡·K、SC=0.48	4.6	0.25	3.0	_	
			ゾーン別制御性	ペリメータ、インテリアゾーニング、4管式AHU、冷暖切替	5.0	0.37		_	
	2.2	湿度制			3.0	0.20	3.0	-	
		空調力			1.0	0.30	3.0	-	
3	光·視	環境			4.7	0.25	-	-	4.7
	3.1	昼光和			4.5	0.31	-	-	
			昼光率	U=6.3%	5.0	0.59	3.0	-	
			方位別開口		•	-	3.0	-	
			昼光利用設備	ハイサイドライトを採用	4.0	0.41	3.0	-	
	3.2	グレア		 電動ブラインド	5.0	0.29		-	
	2.2	1 照度	昼光制御	电	5.0 4.0	1.00 0.15	3.0	-	
		照明制	北約	明るさセンサー	5.0	0.13	3.0 3.0	-	
4	<u>つ.។</u> 空気費		אימו ני	9100 00 7	4.2	0.25	0.0	-	4.2
ן ו		発生派			4.0	0.50		-	
			化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料を使用(70%)	4.0	1.00	3.0	-	
	4.2	換気	10 3 7 3 3 10 10 3 2		4.0	0.30	-	-	
			換気量	中央管理方式の空気調和設備、30㎡/h人	4.0	0.34	3.0	-	
		2	自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
		3	取り入れ外気への配慮	各種排気と異方位、かつ6m以上	5.0	0.34	3.0	-	
	4.3	運用管			5.0	0.20	-	-	
			CO ₂ の監視	管理マニュアル	5.0	0.50	•	-	
-	JL 1		喫煙の制御	屋外の喫煙スペースがある	5.0	0.50	•	-	4.0
	サービ機能性	ヹス性〕 +	HE .		4.3	0.30 0.40	-	-	4.3
' [±・使いやすさ		3.6	0.40	-	-	4.3
	'.'		広さ・収納性		3.0	0.40	3.0		
			高度情報通信設備対応	将来的に複数キャリアを引き込める空配管を設置している	4.0	0.33	3.0	_	
			バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準	4.0	0.35		-	
	1.2		t·快適性		5.0	0.30		-	
			広さ感・景観	天井高:2.7m	5.0	0.34	3.0	-	
		2	リフレッシュスペース	リフレッシュスペース3.8%、自動販売機あり	5.0	0.33	-	-	
		3	内装計画	パースによる内装の事前検証を実施している	5.0	0.34		-	
	1.3	維持管			4.5	0.30	-	-	
			維持管理に配慮した設計	OAフロア、壁掛け便器など	5.0	0.50		-	
	Z1 C7 /-		維持管理用機能の確保	清掃用具庫に洗い場を設置し、排水設備への経路を確保している	4.0	0.50		-	
2		生信頼	· ·		4.5	0.30	-	-	4.5
	2.1		免震・制震・制振 耐震性(建物のこわれにくさ)	最大層間変形角1/175	5.0	0.50	•	-	
			一般には、一般には、	版入階间変形用1/1/3 免振構造	5.0 5.0	0.80		-	
-	22		光辰・利辰・利振性能 部材の耐用年数		3.6	0.20			
		1	即初り間		3.0	0.20	_	_	
			外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
		3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10		-	
		4	空調換気ダクトの更新必要間隔	(厨房排気)の全てに、SUSやガルバニウムダクトを採用	5.0	0.10	-	-	
		5		空調配管:難燃性断熱材被覆銅管・・・C	5.0	0.20	-	-	
			主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
	2.4	信頼性		Na C Mar // /	5.0	0.20	-	-	
		1	空調•換気設備	換気設備の系統区分、、吊配管、災害時の優先運転・電源供給	5.0	0.20	-	-	
			給排水•衛生設備	グリーン購入法適合品、火災時の汚水槽、井水、災害等の停電時に飲料用	5.0	0.20	-	-	
		3	電気設備	非常用発電機、UPS、電源車接続時に利用可能な照明等の配線	5.0	0.20	-	-	
		4	機械・配管支持方法	耐震クラスS	5.0	0.20	•	-	
		5	通信•情報設備	光・メタル、1FにMDF室、UHF・BS・CS、ネットワーク機器用の無停電装置	5.0	0.20	-	-	

3 3 単型の企と										
1 所流ののとり 一条株 45m	3_					4.0	0.30	-	-	4.0
2 国の形状・自由さ 安長世年11 1 日本の日本の日本 4.0 0.40 3.3 3.1 日本の日本 1 日本の日本の日本 1 日本の日本		3.1	空間の	ゆらり		4.6	0.30	*	-	
2 国際の形化・自由性 発表と比率 614			1	階高のゆとり	階高:4.5m	5.0	0.60	3.0	-	
3.2 用品のかとり			-		酵長さ比率⋅0.14			20	_	
3. 公司の正作性	-									
1 全部配合の原統性					予伤主4900N/ III 			3.0	-	
2 終計水気の声動性 0人のファラックの採用 5.0 0.10 1 参加を設定的の影性 0人のファラックの採用 5.0 0.10 1 参加を設定的の影性 0人のファラックの採用 5.0 0.10 1 参加を設定的の影性 0人のファラックの採用 5.0 0.10 1 参加を設定的 1 参加を支援を使用 1 参加を支援を使用の 1 参加を支援を使用 1 参加を使用 1 参加を支援を使用 1 参加を支援を使用 1 参加を使用 1 参加		3.3	設備の)更新性		3.6	0.40	-	-	
2 結析水学の受新性 0,707・ラックの採用 50 0,10 -			1	空調配管の更新性	冷媒・ドレン配管は全て天井内またはPS内にに布設されている	4.0	0.20	_	-	
3 恵太柱保の支軽性 0A7Dア・ラックの採用 5.0 0.10 2.3 - 1			-			3.0	0.20			
1 過程性限の受験性					 043日マ = 11.4の極田				-	
1						5.0	0.10	*	-	
1 生物理域の総合と相性			4	通信配線の更新性	OAフロア・ラックの採用	5.0	0.10	*	-	
1 生物理域の総合と相性			5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	_	
3				A-1111 H-111 - F-1111 -						
1 生物環外保全上報出 数の、 40 0.03 - 40 3 地域性・アメーティへの配置 40 0.03 - 40 3.1 地域性・アメーティへの配置 40 0.03 - 40 3.1 地域性・アメーティへの配置 40 0.03 - 40 3.1 地域性・アメーティーの配置 40 0.05 - 40 1.1 運動外長の熱養養育期 PPI の						3.0			-	
2 またびか・音楽への配達 出たの一体形、選りを志た声に忘にい 40 0.40 40 30 40 31 40	Q3	至外	環境(男	牧地内)		_	0.30	-	-	4.0
3 地域性・アメニア・小の配慮	1	生物现	環境の化	保全と創出	敷地周辺の生物環境の立地特性の把握・計画方針の設定	4.0	0.30	-	-	4.0
3 地域性・アメニア・小の配慮	2	まちな	み 書	思への配慮	街との一体感、通りを走った時に楽しい	40	0.40		_	4.0
31 地域性への配度、快速性の向上										
22 余地内 1	ا ا							*	-	4.0
R 注水物の大変の動動機的動		3.1	地域性	への配慮、快適性の向上	アフスから光を取りこみ開放性を確保している	4.0	0.50		-	
R		3.2	敷地内	1温熱環境の向上	煙突経由排熱設備を設置しない。	4.0	0.50	-	-	
連動外及の熱負債物制 DPI=0.08	ΙĐ								_	12
1 整体外及の熱食養物制 SPI=0.88				R 元 員 刊 15 / 8 / 11			0.40			
2 自然エネルギー利用 ハゲッパラッイを発展用 40 0.10 40 3 設置シファムの高効率化 印虹IIDEIDIT 0.59 6.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 4.5 4.5 1.0 4.5 4.5 1.0 4.5 4.5 1.0 4.5 4.5 1.0 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 1.0 0.00 4.5 4.5 4.0 0.00 4.5 4.5 4.0 0.00 0.00 4.3 0.00 0.						_		-		
2 自然エネルギー利用 ハイヴィアライトを採用 4.0 0.10 4.0 3 設置システムの含め事化 961(BEEm): 0.59 5.0 5.0 5.5 5.5 4 外事的意用 4.5 0.20 4.5 4.5 0.20 4.5 4.1 ミークリング 中央管理・医院を助動・課用管理体制の機能化、規物を体のエネルギー消費型の目標を受空 4.0 0.0 0.90 4.1 運用管理体制 4.0 0.0 0.90 4.1 1. 正子グリブル - - 0.30 - 4.1 1. 加木利用・維持水等の利用 4.0 0.30 - 4.0 1. 加木利用・維持水等の利用・ ・ 1. カスコマ、自動水枠に加えて富水型機器 4.0 0.40 4.0 2. 政府大社変の保存機関係 4.0 0.0 0.0 4.3 2. 政府大社変の保存機関係 4.0 0.0 0.0 0.0 2. 政府大社を認める体の主体を設めり達成機関係 5.0 0.0 0.0 0.0 2. 政府大社を認めり達成を設めり達成機関係 7.0 0.0 0.0 0.0 0.0 2. 政府大社を認めの企業を必要を対したがらにはなるがのではなるがのではなるがのではなるがのではなるが	1	建物タ	小皮の熱	热負荷抑制	BPI=0.66	5.0	0.20	-	-	5.0
3 日本の主義の事化					ハイサイドライトを採用	4.0	0.10	-	_	4.0
4 大学 (1 元 2 か) (2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2 元 2						_				
# 会合生を以外の評価				い間刈竿に	LDEIJLDEIMJ - V.88			*	-	
41 モニタリング 中央建筑/FEMS、熱馬機のOP・熱面システムCOP・熱望接送MTFH回 5.0	4	<u> </u>	内運用			4.5	0.20	•	-	4.5
41 モニタリング 中央建筑/FEMS、熱馬機のOP・熱面システムCOP・熱望接送MTFH回 5.0			集合住	宅以外の評価		4.5	1.00	-	-	
42 運用管理体制 運用管理体制の組織化、競物全体のエネルギー消費室の目標値を設定					中央監視/BEMS、熱源機COP・熱源システムCOP・熱媒搬送WTF評価					
展合住宅の評価			-							
4.1 モニクリング 3.0 - 4.1 1.1 1.2 1.2 1.2 1.3					建用日理体制の祖職化、建物主体のエイルヤー消貨重の日標値を設定	4.0	0.50	-	-	
42 国用管理体制			集合住	宅の評価		-	-	-	-	
42 国用管理体制			4 1	モニタリング	1	3.0	_	_	_	
7 大変			-		1					
大変調保護		**				0.0	-	*	-	
1.1 節水	LR2	資源•	・マテリ	アル			0.30	-		4.1
12	1	水資源	原保護			4.0	0.20		-	4.0
12 雨水利用・連絡水等の利用		11	節水		節水コマ、自動水栓に加えて省水型機器	4.0	0.40		_	
1 雨大利用システム導入の有無 本外利用	l 1			1田・雄性水笠の利田						
2 非再生性資제の使用量削減 4.0 0.30 - 4.3 0.60 - 4.3 0.60 - 4.3 0.60 - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - - 4.3 0.60 - 4.3 0.20 -		1.2			T LOUIS			-	-	
2 非再生性資源の使用量削減 PHCが、キャプリングバイル工法、デッキ合成スラブ、機械式軽手 4.3 0.60 - 4.3 2.1 材料使用量の削減 5.0 0.10 - 5.0 0.20 - 5.0 2.2 既存建築躯体を開発機使用 5.0 0.20 - 5.0 0.20 - 5.0 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10 - 5.0 2.5 持続可能な森林から産出された材料の使用回避 3.6 0.20 - 5.0 3.7 再労験實金有材料の使用回避 3.6 0.20 - 3.6 3.1 有害物質を含まない材料の使用 75.0 0.20 - 5.0 1 海外網 4.0 3.0 0.50 - 5.0 2 発泡剤(耐熱材等) 75.0 0.20 - 5.0 - 5.0 3 冷線 - 70.7 「ハロンの回避 - 7.0 - 7.			1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用	4.0	0.70	-	-	
2 非再生性質調の使用量削減 4.3 0.60 - 4.3 2.1 材料使用量の削減 2.2 既存建薬解体等の継続使用 3.0 0.20 - 5.0 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 5.0 0.20 - 5.0 2.5 排続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10 - 5.0 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.0 - 6.0 3.5 発験飼含材料の使用回避 3.6 0.20 - 3.6 3.1 有害物質を含まない材料の使用 5.0 0.20 - 3.6 1 海火刺 4.0 0.30 - 5.0 2 発泡剤(断熱材等) 提出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) 4.0 0.50 - 3.5 1 地球温暖化への配慮 8Ei=0.59 4.3 0.33 - 4.3 2 地域電境への配慮 8Ei=0.59 4.3 0.33 - 4.3 2.1 地球温暖化への配慮 8Ei=0.59 4.3 0.3 - 3.5 2.1 大気汚染防止 2.2 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - 3.0 2.1 大気汚染腫前の設備抑制 必要的質問制 3.2 0.25 - 3.2 3 展現機・必要的重 3.0 0.40 - 2.0 - 2.0 - 3.2 3 展現時が必要の能 4.0 0.25 - 3.2 - 3.2 - 3.2			2	雑排水等利用システム導入の有無	雨水を雑用水としてトイレ洗浄水に利用	4.0	0.30	-	-	
2.1 材料使用量の削減	2	非面点							_	13
22 既存建築躯体等の継続使用	- -	<u> </u>	上江天《	*************************************						
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 鉄骨楽等に電炉網を使用		A 4	44 J/J /+	- 田 目 の 物 は	DUOは ナレプリングパノルエは デッキのはフェブ 機械子継手				_	4.0
この					PHC杭、キャプリングパイル工法、デッキ合成スラブ、機械式継手	5.0	0.10	-	-	4.0
こしい こい こ					PHC杭、キャプリングパイル工法、デッキ合成スラブ、機械式継手	5.0	0.10		- - -	4.0
2.4 単体科以外におけるリウオノル材の使用 5.0 0.20 - 2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 5.0 0.20 - 3 汚染物質含有材料の使用回避 3.6 0.20 - 3.6 3.1 有害物質を含まない材料の使用 2 発泡剤(断熱材等) 7ミグリートE 4.0 0.30 -		2.2	既存建	築躯体等の継続使用		5.0 3.0	0.10 0.20	-	- - -	4.0
2.5 持続可能な森林から産出された木材 2.0 0.10 -		2.2	既存建 躯体材	2築躯体等の継続使用 け料におけるリサイクル材の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ドニル系は材(フロアリュートン/イルドNIM) ボード類(ソーラトン) ス	5.0 3.0	0.10 0.20	-	- - -	4.0
CGS工法、OA7DP 5.0 0.20 -		2.2	既存建 躯体材	2築躯体等の継続使用 け料におけるリサイクル材の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス	5.0 3.0 5.0	0.10 0.20 0.20	-	- - -	4.0
3 万条物質含有材料の使用回避	-	2.2 2.3 2.4	既存建 躯体材 躯体材	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス	5.0 3.0 5.0 5.0	0.10 0.20 0.20 0.20	-	- - -	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	2.2 2.3 2.4	既存建 躯体材 躯体材	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス	5.0 3.0 5.0 5.0	0.10 0.20 0.20 0.20	- - - -	- - - -	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	- - -	2.2 2.3 2.4 2.5	既存建 躯体材 躯体材 持続可	整躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.20	-	- - - -	4.0
3.2 フロン・ハロンの回避 3.5 0.70 - -	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6	既存建 躯体材 躯体材 持続可 部材の	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 」再利用可能性向上への取組み	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20	-		
消火剤	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物	既存建 躯体材 排続可 部材の 物質含	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材」再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20	-	- - - - -	
日本の	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	既存建 躯体材 持続可 勿質含 有	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 」再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 」質を含まない材料の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30	-	- - - - - -	
日本の	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	既存建 躯体材 持続可 勿質含 有	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 「能な森林から産出された木材 」再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 」質を含まない材料の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30	-	- - - - - -	
Ref	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	既存す 躯体材 持続す 勿質含す 有コン	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 質を含まない材料の使用	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30	-	-	
R3 敷地外環境	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	既存建 躯体材 持続の 物質含材 有害物 フロン	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70	-	-	
1 地球温暖化への配慮 4.3 0.33 4.3 2 地域環境への配慮 3.0 0.33 3.0 2.1 大気汚染防止 1.0 0.25 2.2 温熱環境悪化の改善 地表面対策面積率=48.4% 4.0 0.50 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 1 雨水排水負荷低減 少要貯留量を敷地内で確保している 4.0 0.25 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 5 水処理負荷抑制 3.0 0.25 4 廃棄物処理負荷抑制 3.0 0.25 5 服置・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音・振動・悪臭の防止 1 風害の抑制 3.0 0.50 1 風書・砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.50 2 砂塵の抑制 3.0 0.50 3 日照阻害の抑制 3.0 0.40 1 風書・砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 3 日照阻害の抑制 3.0 0.40 3 日照阻害の抑制 3.0 0.40 4 人妻・砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 1 風書・砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 2 砂塵の抑制 3.0 0.30 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 4 人妻・科闘羽をび屋内闘卵のうちがに漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70	3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	既存建 躯体材 持続 の	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等)	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70		-	
2 地域環境への配慮 3.0 0.33 - 3.0 3.0 2.1 大気汚染防止 1.0 0.25 - 2.2 温熱環境悪化の改善 地表面対策面積率=48.4% 4.0 0.50 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - 2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - 2.3 立張負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保 4.0 0.25 - 2.3 交通負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保 4.0 0.25 - 2.3 交通負荷抑制 2.0 0.25 - 2.3 2.3 交通負荷抑制 2.0 0.25 - 2.3 2.3 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 2.3 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - 2.3 3.2 3.2 3.3 3.5 3.2 3.3 3.5 3.0 0.50 - 2.3 3.3 3.5 3.0 0.50 - 2.3 3.3 3.5 3.0 0.50 - 3.3 3.0 0.	-	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	既存材 躯体材 持続の 勿質含す 有害物 1 2 3	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50		-	3.6
2 地域環境への配慮 3.0 0.33 - 3.0 2.1 大気汚染防止 1.0 0.25	-	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	既存材 躯体材 持続の 勿質含す 有害物 1 2 3	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50		-	3.6
2.1 大気汚染防止 1.0 0.25	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	既存材 躯体材 部が 含す フロー 2 3 外環境	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30			3.6
2.2 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - 1 雨水排水負荷低減 必要貯留量を敷地内で確保している 4.0 0.25 - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.2 0.33 - - 1 騒音 3.0 0.50 - - 2 振動 3.0 0.50 - - 3 悪臭 3.0 0.50 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.40 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 4 大害の抑制 3.0 0.30 - - 1 屋外側明及び屋内側明のうち外に漏れる大への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	既存建 躯体材 持続すの 有害物 1 2 3 外環境・	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33		-	3.6 3.5 4.3
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 -	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2	既存殖 躯体材 持続の 有害り 1 2 3 外環境への	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33		-	3.6 3.5 4.3
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.2 0.25 - - 1 雨水排水負荷低減 必要貯留量を敷地内で確保している 4.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保 4.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - - - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - - 2 振動 3.0 0.50 - - - 3 悪臭 3.0 0.50 - - - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.70 - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - - 3 大害の抑制 3.0 0.30 - - - 4 体別の抑制の256所に調和る光への対策 周囲のの漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 敷地が 地域現 2.1	既存体材 持部 質有 コープー 2 3 外環境への 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ では、 でででは、 でいている。	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33		-	3.6 3.5 4.3
1 雨水排水負荷低減 必要貯留量を敷地内で確保している 4.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保 4.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - - 2 振動 3.0 0.50 - - - 3 悪臭 - - - - - - 1 風害の抑制 3.0 0.40 -<	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 敷地が 地域現 2.1	既存体材 持部 質有 コープー 2 3 外環境への 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気 気	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ では、 でででは、 でいている。	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン)	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33		-	3.6 3.5 4.3
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - 3 交通負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保 4.0 0.25 - 4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 2 振動 3.0 0.50 - - 2 振動 3.0 0.50 - - 3 悪臭 - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3 お害の抑制 3.0 0.30 - - 4 4 0.20 - - - - 3 お害の抑制 3.0 0.30 - - 3 未常の抑制 3.0 0.30 - - 3 未満の抑制 3.0 0.30 - - 3 未満の抑制 3.0 0.30 - - 3 未満の抑制 - - -	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 数地球温 地域现 2.1 2.2	既躯躯 特部質有フロー 2 3 5 5 2 3 5 5 2 3 5 5 2 3 5 5 2 5 3 5 5 5 5	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ でにしている ・ では、・ では、・ では、・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン)	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50		-	3.6 3.5 4.3
3 交通負荷抑制 IN・OUTを分け車路幅を広く確保	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 数地球温 地域现 2.1 2.2	既躯躯 特部質有フロー 2 3 境に 気熱域 イス 1 2 3 境に 気熱域 イス 2 3 境に の 5 環状 2 3 境に 1 2 3 境に 2 3 境に 2 3 境に 2 3 境に 2 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ である。 ・ できなる。	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4%	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.6 3.5 4.3
4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25 - - 3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 2 振動 3.0 0.50 - - 3 悪臭 - - - - - 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる米への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 数地球温 地域现 2.1 2.2	既躯 躯 持部質有フロー 2 3 境に 気熱域イ 気熱域イ 1 2 3 境に 1 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4%	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0 4.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.6 3.5 4.3
4 廃棄物処理負荷抑制 2.0 0.25	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 数地球温 地域现 2.1 2.2	既躯 躯 持部質有フロー 2 3 境に 気熱域イ 気熱域イ 1 2 3 境に 1 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4%	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0 4.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25		-	3.6 3.5 4.3
3 周辺環境への配慮 3.2 0.33 - 3.2 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 数地球温 地域现 2.1 2.2	既躯 躯 特部質有フロー 2 3 外暖境大温地域 1 2 2 3 2 3 2 2 3 2 2 3 2 3 2 3 3 3 3 3	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ ででした。 ・ できるといが、 でいた。 ・ でになった。 ・ でになった。 ・ でになった。 ・ でになった。 ・ では、	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25		-	3.6 3.5 4.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 3.0 0.50 - - 2 振動 3.0 0.50 - - - 3 悪臭 - <	LR3	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 数地球温 地域现 2.1 2.2	既躯 躯 特部質有フロー 2 3 外暖境大温地域 1 2 3	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ で配慮 ・ ででである。 ・ でである。 ・ でである。 ・ である。 ・ できなる。 ・	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25		-	3.6 3.5 4.3
1 騒音 3.0 0.50 - - 2 振動 3.0 0.50 - - 3 悪臭 - - - - 1 風害の抑制 3.0 0.40 - - 2 砂塵の抑制 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうら外に漏れる米への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染軟 3.1 3.2 數地均 或到 2.1 2.2 2.3	既存体材 持部質有フロータ 1 2 3 外環境への 5 環境 1 2 3 サ 2 3 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・ の配慮 ・ で配慮 ・ で	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 5.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.2	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
2 振動 3.0 0.50 - <td< td=""><td>LR3 1 2</td><td>2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3</td><td>既躯 躯 持部 質有 フロー 1 2 3 3 境・ (</td><td>築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 関を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 シアラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制</td><td>鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している</td><td>5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.2</td><td>0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33</td><td></td><td>- - - - - -</td><td>3.5 4.3 3.0</td></td<>	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3	既躯 躯 持部 質有 フロー 1 2 3 3 境・ (築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 関を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 シアラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.2	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
2 振動 3.0 0.50 - <td< td=""><td>LR3 1 2</td><td>2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3</td><td>既躯 特部質書フリー 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4</td><td>築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 ・の配慮 ・の配慮 ・ででは、 ・では、 ・</td><td>鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している</td><td>5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.2</td><td>0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33</td><td></td><td>- - - - - -</td><td>3.5 4.3 3.0</td></td<>	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3	既躯 特部質書フリー 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 ・の配慮 ・の配慮 ・ででは、 ・では、 ・	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 4.3 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.2	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
3 悪臭	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3	既躯 特部質書フリー 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 ・の配慮 ・の配慮 ・ででは、 ・では、 ・	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 - 4.3 3.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33 0.40		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 3.0 - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3	既躯 特部 有ファイン 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 の質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 りに 速 ・の配慮 ラテアーの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 を棄物処理負荷抑制 を棄物処理負荷抑制 を乗物処理負荷抑制 を乗物処理負荷抑制	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 3.0 - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3	既躯 特部 有フロー 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 の質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 うに 変防止 環恵悪化の改善 ンフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 を発動・悪臭の防止 騒音	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 3.0 - - - 3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染中 3.1 3.2 敷地球 3.1 2.1 2.2 2.3	既躯 特部 有フロー 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 の質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 うに 変防止 環恵悪化の改善 ンフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 を発動・悪臭の防止 騒音	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
2 砂塵の抑制 3.0 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 敷地 域 2.1 2.2 2.3	既躯 特部質 オフロー 1 2 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 敷地 域 2.1 2.2 2.3	既躯 特部質害フリー・ 1 2 3 3 4 4 6 6 1 2 3 1 4 1 2 3 1	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 のできまない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 敷地 域 2.1 2.2 2.3	既躯 特部分有フロー 1 2 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 8 1 2 3 3 8 1 2 3 3 8 1 2 3 8	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
3.3 光害の抑制 4.4 0.20 - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70 -	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 敷地 域 2.1 2.2 2.3	既躯 特部分有フロー 1 2 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 8 1 2	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 一でである。 一では、一ででは、一ででは、一ででは、一でである。 一でである。 「対している。 「はいる。」 「はいる。 「はいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいるいる。」 「はいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいるいるいるいるいる。 「はいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.10 0.20 0.20 0.20 0.10 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 5.0 0.70	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 敷地 域 2.1 2.2 2.3	既躯 特部分有フロー 1 2 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 8 1 2	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 一でである。 一では、一ででは、一ででは、一ででは、一でである。 一でである。 「対している。 「はいる。」 「はいる。 「はいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいるいる。」 「はいるいる。」 「はいるいるいる。」 「はいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいる。」 「はいるいるいるいるいるいるいるいるいる。 「はいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいるいる	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1	既躯 特部分有フロー 1 2 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 4 0 6 3 3 8 1 2 3 3 3 8 1 2 3 3 3 8 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、ス ラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策 3.0 0.30	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1	既躯 特部 匆 有フロー 2 3 環 (水・の) 4 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 ・シスラーのの負荷抑制 雨水排水負荷抑制 下水処理負荷抑制 下水処理負荷抑制 廃棄財・悪臭の防止 騒音 振動 悪臭 砂塵、日照阻害の抑制 風害の抑制 し 回題 の理解 の理解 の理解 の理解 の理解 の理解 の理解 の理解 の理解 の記憶	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、スラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している IN・OUTを分け車路幅を広く確保	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 1.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0
	LR3 1 2	2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 污染料 3.1 3.2 2.1 2.2 2.3 3.1	既躯 特部分有フロー 1 2 3 3 4 4 6 3 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま 1 2 3 ま 1 3 ま	築躯体等の継続使用 料におけるリサイクル材の使用 料以外におけるリサイクル材の使用 能な森林から産出された木材 再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 質を含まない材料の使用 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 小口ンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 小配慮	鉄骨梁等に電炉鋼を使用 ビニル系床材(フロアリュームソイルドNW)、ボード類(ソーラトン)、スラッジを用いた路盤材(路盤) LGS工法、OAフロア ケミクリートE 押出法ポリスチレンフォーム、吹付ウレタンフォーム(ノンフロン) BEI=0.59 地表面対策面積率=48.4% 必要貯留量を敷地内で確保している IN・OUTを分け車路幅を広く確保	5.0 3.0 5.0 5.0 2.0 5.0 3.6 4.0 3.5 - 4.0 3.0 4.0 3.2 4.0 3.0 4.0 2.0 3.0 3.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 3.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4.0 4	0.10 0.20 0.20 0.20 0.20 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		- - - - - -	3.5 4.3 3.0